

令和2年度第3回日進市総合戦略推進委員会 議事録

日 時 令和2年11月26日(木) 午前10時から午前11時35分まで
 場 所 日進市役所本庁舎4階 第1会議室
 出 席 者 高木伸治、福安克彦、鶴飼宏成、亀倉正彦、山田慎太郎、高岡俊彦、堀修(敬称略)
 欠 席 者 市川耕一、三村剛、小金澤衣里(敬称略)
 事 務 局 石川達也(総合政策部長)、和田徹(同部調整監)、杉田武史(同部次長兼企画政策課長)、安彦直美(同課課長補佐)、河合一成(同課市政戦略係長)、志水崇法(同課同係主任)
 傍聴の可否 可
 傍聴の有無 有(6名)
 次 第 1 開会
 2 議題
 (1) 第2期日進市人口ビジョン(案)について
 (2) 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について
 3 その他
 第6次総合計画の策定スケジュールについて
 4 閉会
 配付資料 資料1 第2期人口ビジョン(案)
 資料2 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)
 資料3 総合計画と総合戦略の全体像
 資料4 第6次総合計画の策定スケジュール

	1 開会
	(傍聴者入室)
	2 議題
委 員 長	議題(1)第2期日進市人口ビジョン(案)について、説明をお願いします。
事 務 局	(資料1に基づき説明)
委 員 長	ただいまの説明についてご意見、ご質問をお願いします。
委 員	資料は良くなりました。評価したいと思います。 16 ページ、予定している子どもの数0人と回答する方の割合が増えています。しかし、回答者の年齢も増えているので、子どもがすでに生まれていて、これ以上は希望しないという方が増えているのではないですか。そのあたりを考慮しないと、判断できないのではないかと思います。 43 ページの目指すべき方向性について、きれいに整理されていると感じますが、45 ページで安全・安心というまちの姿があるので、目指すべき方向性においても、安全・安心について記載してあった方が良いのではないでしょう

	<p>か。そうすると方向性とまちの姿がリンクするのではないかと思います。</p> <p>また、農地が減少というところで、もう少し内容を明確にしたほうがいいのではないのでしょうか。例えば、市内に活用可能な農地、田と畑はどれくらいあるのか。名古屋市近郊都市ということを考えると、特に畑がどのような状況になっているのか。減っているのか、また減っているならばその原因は何かということのエビデンスとして持ったうえで、今後の戦略を考える必要があるのではないのでしょうか。</p> <p>地方創生のゴールが見えないように思えます。いつまでに、どのレベルまでという、具体的なゴールが見えません。これがなければ、日進市ではなく他市の総合戦略だと言っても、何ら遜色のない計画になってしまうのではないのでしょうか。名古屋市近郊都市の普遍的な計画のように思います。日進市らしさをもっと出すとともに、結果を出していただかないと、市民にも他市の方にも日進市は魅力がないと思われてしまいます。</p>
<p>委員長</p>	<p>貴重な意見ありがとうございます。特に期間、ターゲットについてという点と、日進市ならではの部分について、第2部との接続の部分で非常に重要になってくると思います。その点について検討された上で、第2部が存在していますので、それにつながるようなことを第1部でも示唆していくということは、重要かと思います。</p> <p>市民意識調査について、令和2年に置き換えるという説明がありましたが、例えば21・22ページのところで、データを見る際は時系列で見る必要があります。先ほどの理想とする子どもの数についても、時系列で見るから傾向が見えてくる部分があります。したがって、平成30年度市民意識調査の結果を無くすのではなくて、平成30年度と令和2年度を比較することによって見えることを重視していただくか、あるいは、理想とする子どもの数のように、平成28年度、平成30年度、令和2年度の調査結果を掲載して比較することが、統一性という点ではあるべき比較の仕方だと思います。項目ごとで時点が異なるような出し方は適切ではないと思います。ただし、調査しているかどうかにもよりますので、年数が前後することはあるかもしれませんが、いずれにせよ、時系列で比較するということは大切な視点だと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>1つ、提案ですが、人口ビジョンは市民が読むことを意識されていますか。私のような大学で仕事をしているものにとっては、データを示していただければ、そのデータが持っている意味というものを考えていきますが、例えば5から8ページのグラフの説明が事実のみになっています。一般的なアンケート結果などは、数値のみを記載するようになっており問題はありますが、読み手のことを考えたときに、このグラフが何のために出されたのか、4つの目標とするまちの姿に結び付けられるものなのであれば、そのメッセージを項目の最後にコラム的に示してはどうでしょうか。例えば、「全国的な環境を見た場合、少子化、高齢化が進んでいるが、そのような中で、日進市は比較的恵</p>

	<p>まれた環境にある。また、今後、高齢化が進んでいくことが予測されているので、将来を見据えた施策を実施する必要がある。」というような、市民に対する問題提起があると、グラフの意味を感じられるのではないかと思いますので、検討してください。</p>
委員長	<p>従来の報告書は必ずしも一般公開しないような形で記載されていることもあったかと思えます。今回は、パブリックコメントを前提とし、その意見を反映させるということですので、より適切に内容が伝わる表現形式を選択すべきかと思えます。</p>
委員	<p>市民意識調査の見せ方ですが、年齢別で、転出した理由が記載されていますが、日進市の中でも地域によって違いがあるかと思えます。地域別のデータも、分析という意味で、バックデータで持っておいていただくことが必要だと思えます。</p>
委員長	<p>転入、転出の市民意識調査の回答は、地域によって異なると思えます。 それでは、これまで頂いた意見に基づいて、計画を修正します。また、意見の反映については、委員長の判断に一任していただくという形で、承認をお願いしたいと思えますが、ご承認いただけますでしょうか。</p>
	<p>(異議なし)</p>
委員長	<p>ありがとうございます。それでは、議題2について審議を始めます。ここで先ほど委員からご指摘のあった、時間軸や日進市ならではのということを象徴的に主張されるのだと思えます。事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料2に沿って説明</p>
委員長	<p>これから委員に意見を伺う前に確認です。今日議論して、後日改めてご意見を伺いますが、この段階で、KPIや数値目標の初期値、目標値の検討をしておりません。ここはパブリックコメント時にどのような形で公表されるのでしょうか。</p>
事務局	<p>初期値につきましては、市民意識調査の値を利用している指標については、令和2年度に集計した結果の数値を記載します。目標値については、適切な目標値を設定するために経年の値を考慮する必要がありますので、所管課と事務局で相談をしながら、総合計画の期間で達成できる値を検討し、記載したいと考えております。</p>
委員長	<p>考え方はわかりました。総合計画10年に合わせた形で、10年間のまちづくり戦略となるという位置づけです。まずはご不明な点についてご質問をお願いします。</p>
委員	<p>指標につきまして、パブリックコメントには間に合うのでしょうか。初期値、目標値は掲載した形でパブリックコメントを行うのでしょうか。</p>
事務局	<p>数値目標及びKPIは、総合計画と同じ指標を使っています。総合計画の指標の設定について、現在、設定を進めております。総合計画についても12月11日からパブリックコメントを行う予定であり、指標の初期値と目標値を掲</p>

	載する予定としておりますので、総合戦略についても掲載する予定です。
委員長	数値の値については、本委員会では議論の対象ではないという理解でよろしいですか。
委員	我々、委員が議論した数値ではないということですね。
事務局	そうです。庁内で検討させていただきます。
委員	施策を展開する意味で、論拠性がないといけません。例えば7ページ、子どもの教育について、「小中学校教育の充実に対する満足度」は理解できます。これをいつまでに何%上げたいということです。しかし、この指標と個々の施策の連携が見えません。課題・問題点があれば、それに対する要因を分析して、主要な要因を出したうえで、それに対してどうするかという施策の展開をすると思います。それに対してこのキーパフォーマンスは何なのか。KPIの設定というのは、目標に対してのKPIの設定ではなく、それを実現するための施策に対するKPIの設定、それをキーパフォーマンスにするというように決めます。そうすることによって、行政の行ったことがフィードバックできる。ただ単純にアンケートをして、アンケート結果が悪い時に何が悪いのかよく見えません。だからKPIの設定というのは、自分たちが評価できるものにしなければならないというのが通常の企業のやり方です。それで考えると、アンケートしました、良かった、悪かった、だけでは何が要因かわかりません。例えばKPIのところ、「小中学校教育の充実に対する満足度」、これは指標としていいと思います。ただ、そのあとの2つの指標は施策と捉えられます。施策をKPI設定することはいいですが、これがどのような形でリンクしているか見えません。これは他のテーマでもそうです。要するに満足度を上げたい、目標設定としては正しいと思いますが、それが不満足なのか、何なのか、それを整理された上でこういう施策を展開したい、と言われれば、我々も正しい分析をしていると思います。その中で、どれが一番キーパフォーマンスであり、KPIを設定しているかによって活動が評価できます。この資料を見ても、何をやったら効果がでてくるか全然見えません。企業で言ったら破産します、私の経験でいきますと。目標設定は正しいと思いますが、各施策とどれだけ連携しているかということをきちんと分析しないと、毎年同じことをやっていると思えません。
委員長	忌憚のないご意見ありがとうございます。
委員	先日の新聞で、住みやすさのまちランキングというものが載ってまして、詳細は見えてませんが、長久手市が4位で日進市は90位ぐらいでした。私のイメージでは、どんどん引き離されているというイメージです。人口増加率を資料でみると日進市も長久手市もほとんど変わらないです。では何が違うのだろう、近隣の町に差をつけられている原因は何だろう、というところが、委員がおっしゃられた、何が良くて、何が悪いのかというところだと思います。ランキングの指標は必ずそれぞれの項目に、指数があって、客観的な評価があ

	<p>ると思いますので、その内容を時系列で調べていただくと長所や短所が見えてくるかと思います。基本目標は4つありますが、それぞれの事業内容とリンクしているのか、ここは本当にやらなければならないというところは重点事業にするとか、重みづけをするとか、そういうことをすることで、日進らしさ、日進オリジナル、そういうものになっていくのではないかと思います。</p>
委員長	<p>これは、総合戦略推進委員会の会議が始まって以降、ずっと、一貫して、体系的な取組、意味のある取組というものがデータでも裏打ちされているということができていないことが課題となっています。この間、みなさん努力されてはいますが、どのような指標を本当に選択していくべきかという議論が浅かったということは事実かと思います。ただ、時間的な制約がある中で、今後、どのように発展的に作り替えていくかということが課題なのだと思います。したがって、一朝一夕にはすぐには変わらない現状ではありますが、問題意識を共有した中で、向こう10年間、かつ、この中には適宜進捗を把握して、より適切なものに見直すと記載されていますので、本当の意味でのPDCAサイクルがまわる分析ができる体制を一緒になって検討事項として入れ込む必要があると思います。重要なポイントだと思います。</p>
委員	<p>少しアドバイスさせていただきます。3ページから4ページについて、数値目標が記載されていますが、本来ここは総合指標であるべきだと思います。</p> <p>それからもう1つ、数値をコントロール可能な指標としたほうがいいと思います。せっかく数値を出し、指標をつくったのであれば、指標が改善していくための道筋まで考えておいた方がいいかと思います。</p> <p>具体的には、3ページの「学校に行くのが楽しいと思う児童生徒の割合」という指標、これは操作のしようがありません。このような指標よりは、この要素がどういう要因から構成されているのか、というところをもう少し、たどっていく。そして、その結果は、既に記載しておられる、例えば7ページから8ページの事業内容になると思います。私からの提案というのは、事業名・事業概要までしか記載されていませんが、ここに、各事業に対する目標値のようなものをつけることをお勧めします。そうすると何ができるのかという、そのデータを蓄積していくと、ここから先は統計の話になりますが、主成分分析ができます。ここにいくつかの事業がありますが、この数字がこういうふうに変化しています。そうするとグルーピングが可能になって、この手の事業は総じて向上するまたは、しないなどグルーピングをすることで共通の部分などを考えていくことが可能になります。そこで出されたものを、適切な形で重みづけをした上で、総合指標として設定すればいいと思います。</p>
委員	<p>内容自体は問題ないと思います。これまでの経験で展開をされているのだと思います。限られたリソースをどこに投入すると一番効果があるのか。多変量解析も含めて、そうするともっとスマートに、早い期間に成果が出ると思います。あと少し整理していけば良くなると思います。今までの知見を整理する</p>

	と、グルーピングして、一番効果があるものを分析し、それをK P Iに落とし込む、そうすると説得力も生まれると思います。
委員長	他にありますか。
委員	K P I、目標値の設定について、目標を達成するためにどうアクションしていくか、ということを考えると、まず目標値があつて、そこから逆算して主な事業の内容が決まってくると思います。目標値を高めていくために、どういった事業が必要か。また、いつまでにどれだけの量を行っていくかということも落とし込んでいかれたほうが、後になってから分析しやすいです。達成状況を振り返るときに、例えばいつまでにできなかったとか、あるいは量が足らなかったとか、色々な分析に対して、対応策が立てられると思います。そこまで踏み込んだ対応をしたほうが、よりK P Iの達成に向けて取り組んでいけるのではないかと思います。
委員	<p>感想ですが、今回の戦略の1が気になっています。施策1-1と1-2がちよっと異質な部分があると思います。1-1は次世代を担う子どもたち、1-2は女性が輝くトータル支援、いくつか問題がありまして、資料1の44・45ページに趣旨説明があります。そこに、「子育てを応援するまち」として、子育て世帯にとって、特に女性にとって働きながらも生き育てやすい環境を整備する必要がある」と書いてあります。私が思ったのは、女性の中でも、出産を前提に置いていないかということが問題提起です。子どもを産むということはデリケートな問題です。そうすると、様々な事情で子どもを産むという選択をしなかった女性にとっては、あなたは輝かなくていいですととられる可能性があります。そのあたりに配慮した表現が必要だと思うとともに、この戦略1については、次世代を担う子どもたちの笑顔が輝くまちを創るというタイトルを修正するのいいと思います。次世代を担うというのはあってもなくてもいいですが、「子どもたちや女性が活躍するまちを創る」というほうが、仮に施策1-2を踏まえて考えたとしても、自然な表現になるのではないかと思います。同時に、もう1つ連想したのは、現在進めている道の駅は、確か国から、市の実情と子育てに力を入れているという点が評価されているという話を聞いたことがあります。結局、子育て支援を道の駅で行う時に、女性が集まってくると思います。女性も一緒に輝くという形にしておくと、両方をターゲットにした施策を打っていくことが、総合的に可能になるのかと思いました。</p> <p>子どもと女性の両方の面での活躍という部分、これは市民ワーキングからの意見でも明確に出ていますので、そういった意見をきちんと配慮したという点が見えてくると、市民の意見を拾い上げたという形になるのではないかと思います。</p>
委員	道の駅の話が出ましたので、お聞きしたいのですが、地産地消というキーワードならば、日進市で今後何を生み出して、何を地域に消費させるのかが具体

	的に見えません。その中で、今の女性の輝くまちづくり、売り手の女性というだけでなく、作り手の女性という点も含めて、もう少し、地産地消を深掘りしていただきたい。そういう観点から考えると魅力が増すと考えました。
委員	パブリックコメントの前に目標値を職員の方々に設定するという説明でした。達成の可能性があるという範囲の中で数値を設定するとのことですが、チャレンジ的な数値を設定していただきたい。先ほどもありましたが、ここに掲げている施策は近隣市町も掲げていることが多いと思います。その中で、日進市として特徴を出し、ブランディングしていこうと思うと、不満な部分、ネガティブな部分は平均点以上に持っていくとして、良いところをよりよく伸ばしていくということをしっかり考えなければならないと思います。例えば、健康、コミュニティ、情報発信等、今、民間企業も社会課題の解決に向けての取組をしています。そういうところとタイアップして、今まではできなかったことが、できるようになるということも十分あると思います。そのあたりのチャレンジを考えていただければいいのかなと思います。
委員長	他にございますか。
委員	7ページの教員のICT活用指導力とは何を測定するのでしょうか。
事務局	これは学習教育部から出されている指標ですが、来年度からICTを活用した事業を進めていきます。教員の方々にはICTの指導に向けた研修を行うとのこと、その中でICT指導力というものが指標として出せるとのことでした。
委員	説明をしないとわからないと思います。この計画書のどこかに、この活用指導力は何から作られている、何を測定した数値なのかということ、記載してください。例えば事業内容と直結していれば説明がなくてもわかると思いますが、現在の事業内容からはICTを設置するとか、活用すると記載してあります。総合的に評価すれば活用指導力という言葉が総合指標になっていく可能性は十分あると思います。ただし、きちんと説明があったほうが読み手に対して親切だと思います。
委員	新聞記事に「地方都市住民定着へ、教育・医療の充実を。」という記事がありました。教育という点では取り上げられていますが、医療の関係で瀬戸市におんぶにだっこという形になっていないのでしょうか。市民の方に色々話を聞いていると、日進市の医療体制、新型コロナウイルス感染症に対して少し不安だと聞きます。コロナかもしれないということで、最後は瀬戸市に救急車で運ばれたという事例もありました。医療の安全・安心についても触れてもいいのかなと思いました。
委員	次世代を担う子どもたちの子どもはどこまでの範囲が「子ども」ですか。大学が多数立地すると記載されています。大学生は子どもと考えているということですか。
事務局	子どもは18歳までと考えています。

委員	<p>そうであれば、何故、次世代を担う子どもたちの学習環境の充実に、大学が多数立地する学園都市の話が出てくるのでしょうか。</p>
委員	<p>大学の活用としての記載ではないでしょうか。</p>
委員	<p>そう明記されていれば、そうだと思います。ですが明記されていません。</p>
事務局	<p>大学を活用した「子ども大学にっしん」ですとか、子どものための教育の場として、大学との連携を推進していることもありますので、活用していきたいという意味で記載しています。</p>
委員	<p>だとすると、先ほど資料3 施策の全体像のところでも1から4までとおっしゃいましたが、5や6も入るのではないのでしょうか。どのように理解すればよいですか。</p>
事務局	<p>戦略の1から4という意味でご説明させていただいています。総合計画の基本目標は1から6まで全て含まれます。</p>
委員	<p>戦略の1から4ということですね。わかりました。 基本目標6の文言、持続可能という言葉があります。SDGsに関わる部分かと思いますが、持続可能ということは、施策全体に関わってくることであって、「地域の自治力」から始まってなんら問題はないと思います。SDGsの考え方を限定していないかということです。</p>
委員長	<p>今回、総合計画と同じ期間で、その中のまちづくり戦略として、戦略目標を横断的な視点で設置して、施策をより効果的に活用していくという姿勢が、資料3 施策の全体像から見て取れます。同時に、そうであれば、次期総合計画の基本は市民協働であり、協働という概念、市民だけでなく、産業界、団体とも協働という視点で考えられていたかと思います。今回、まちづくり戦略としての総合戦略を見ると、大きな思想として総合計画が持っている協働という概念が、施策の中に出てきません。そうなってくると、計画全体の中での役割として、少し不十分ではないでしょうか。つまり、主な事業内容のところでも、各施策を実行することが記載されていますが、これは、行政が予算をつけて実行するものになっています。同じテーマで、民間が、NPOが、市民が、何ができるのか、ということも総合戦略であればあるほど重要性を増してくる気がします。ただ、これをやりましょうとかこれをやってくださいという議論はできないので、書くことはできないということは重々承知していますが、であれば、実行に当たって、日進市の総合戦略ならではの考え方とか、協働の場を生み出すための場づくりなのか、あるいは、戦略会議なのか、そのようなものがビルトインされている計画であると、総合計画との位置づけを考えると素直な計画作りになってくるのではないだろうかと思います。意見です。</p>
委員	<p>そういった点では、例えば、長久手市では、公園西のところで市民が集うような場所が工事中です。ハコモノを作るという方向もありますが、例えば、豊田市では、市民がコミュニティ形成をして、市を元気にするための活動に対して、ある程度テーマを決めて、予算をつけて、市民からの提案に対して審査し、</p>

	<p>予算を配分しています。日進市でも類似の事業を行っていると思いますが、もっと明示的に、市民の方々に意識していただいて、コミュニティ形成、場づくり、そういうことをやっているということ、やっていこうということを強調していくということもあるのかなと思いました。</p>
委員	<p>2点あります。1点目は、資料2の24ページに用語解説がついています。最近の資料作りの流れでは、本文中の初出のページにコラムとして挿入するという流れがあるような気がします。そうすると読んでいただけたらと思います。</p> <p>2点目ですが、全体像について、昨日ゼミをやりまして、この資料を学生に見せて、率直な感想を伺ったところ、基本目標と、まちづくり戦略がわかりにくいという意見が出ました。何がわかりにくいのか学生に話し合ってもらった結果、両方とも動詞になっていることが原因ではないかという話になりました。両方ともこういうことをやろう、こういうことをやろうという感じで、曖昧な感じになっているので、まちづくり戦略というのは、日進市らしさを学生たちも感じているようで戦略の方はいいのですが、基本目標の方は、あまり基本的な内容ではなく、シンプルではないという話になりました。基本目標をもう少しシンプルに、名詞にしてはどうかという意見が学生から出てきました。</p> <p>では、どういう名詞にすればいいのか、と意見を出させたところ、まちづくりの将来像を含めて、今回のキーワードは二つあり、一つは問題解決の水準を上げて、レベルを上げていくという、「健全・健康」。もう一つは、積極的に産業の魅力を高めるとか人材を育成するという、積極的な部分、これを仮に「活力」と学生は表現しました。「健康」と「活力」というキーワードでいくと、学生たちが整理したのは、基本目標1から6までありますが、1・2番は、「人の健康」ではないか。3番は「まちの健康」、4番は「まちの活力」、5番は「人の活力」ではないか。そして6番は、全体を調整していくものではないか。1から6の名詞を整えていくということは、そこまで考える場では無いとは思いますが、その肩書のところに、「人の健康」とか入れていただくと、街の将来像ともつながりが出てくるし、同じ6個あったとしても、読み手にとっては位置づけが捉えられやすくなるのではないかと、学生たちからの意見がありました。</p>
委員	<p>若いだけあって素晴らしい感性ですね。</p>
委員	<p>かなり突っ込んだ議論を行いました。学生たちには、文句をつけるだけなら誰でもできる。文句を言うのであれば、どう解決するのか出すように、と指導しています。</p>
委員長	<p>おそらく、もっと時間をかければ、色々と意見が出てくるかと思いますが、一旦、質問などは区切らせていただきます。12月2日までに事務局までご意見をお寄せください。それを参考にしながら戦略を修正し、パブリックコメン</p>

	トに向かっていきます。 私の方で、皆さんの意見を反映した事務局案を拝見し、承認していきたいと考えておりますが、それでよろしいでしょうか。
	(異議なし)
委員長	ありがとうございます。
	3 その他
委員長	その他について事務局から説明をお願いします。
事務局	(第6次日進市総合計画策定スケジュールについて、資料4に基づき説明)
委員長	事務局へ進行をお返しします。
事務局	ありがとうございました。本日いただいたご意見を参考に、パブリックコメント案を作成していきます。
	4 閉会